

[056] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10211>

出版情報：語文研究. 56, 1983-12-10. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

今号は、大学院の若い人々を中心にした執筆です。編集担当としては、論文あつめに苦勞しなくてよいかわりに、先輩諸氏からの投稿のすくないのはさびしいような気がします。卒業後、教職につかれたかたも多く、国語教育に関心の深いかたもおられるかと思ひます。これまで、本誌には、この方面の論文は掲載したことがないので、今後そういう方面も考えるべきかどうか、御意見をお聞かせください。

一年間の御予定で東南アジアの方に御出講なさっていました奥村三雄先生は、八月に無事帰国され、早速精力的に研究室の運営に奮闘されています。

(S)

執筆者紹介

| | |
|------|---------------|
| 宮崎修多 | 九州大学大学院(修士課程) |
| 龍佳花 | 九州大学大学院(修士課程) |
| 長野秀樹 | 九州大学大学院(修士課程) |
| 中村萬里 | 九州大学大学院(修士課程) |
| 望月正道 | 九州大学大学院(修士課程) |

規 定

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回(春・秋)を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員三千円(各号二部配布)、通常会員千五百円(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。